

【財務諸表】

- 1 損益計算書において、売上高－売上原価＝（ ）
- 2 損益計算書において、売上総利益－販売費及び一般管理費＝（ ）
- 3 損益計算書において、営業利益＋営業外収益－営業外費用＝（ ）
- 4 損益計算書において、経常利益＋（ ）－特別損失＝税引前当期純利益
- 5 損益計算書において、税引前当期純利益－（ ）＝当期純利益
- 6 売上高は、企業の規模を推し量る数値であり、経営効率を示す指標である（ ）は、売上高を総資本で除した数値である。
- 7 （ ）＝期首商品棚卸高（期首の在庫）＋期中の商品仕入高－期末商品棚卸高（期末に残った在庫）
- 8 （ ）は、販売業務や管理業務に関して発生した費用であり、役員報酬や従業員給与はここに含まれる。
- 9 （ ）は、本来の営業活動以外に要した費用であり、支払利息や社債利息などが該当する。
- 10 ROE（自己資本利益率）＝当期純利益÷（ ）×100
- 11 貸借対照表上の有形固定資産には、土地や建物、機械設備が計上され、建物、機械設備は、減価償却を（①）、土地は、減価償却を（②）。
- 12 貸借対照表上の（ ）には、借地権や特許権、ソフトウェアが計上され、特許権、ソフトウェアは、減価償却を行うが、借地権は、減価償却を行わない。
- 13 貸借対照表上の（ ）には、投資有価証券、長期貸付金、出資金などが計上されている。
- 14 貸借対照表上の（ ）には、買掛金や短期借入金などが計上されている。
- 15 貸借対照表上の流動資産のうち、「現金及び預金」「受取手形」「売掛金」などの換金しやすい資産を（ ）という。
- 16 貸借対照表上の負債の部において、1年以内に返済しなければならないものは（①）となり、返済期間が1年を超えるものは（②）となる。
- 17 流動比率＝（ ）×100
- 18 自己資本比率＝（ ）×100
- 19 当座比率＝（ ）×100
- 20 株式発行による増資資金は、貸借対照表上の（①）に計上され、社債発行による調達資金は、貸借対照表上の（②）に計上される。
- 21 固定比率＝（ ）×100

- 2 2 貸借対照表上、金融機関から借り入れた資金のうち、返済期限が(①)以内に到来するものは流動負債に計上し、(①)を超えるものは固定負債に計上する。
- 2 3 金融機関からの借入れによる資金調達は、キャッシュフロー計算書のうち、()によるキャッシュフローに反映される。
- 2 4 企業の財務諸表には、損益計算書、貸借対照表と並んで(①)があり、非上場企業は、(①)の作成が義務付けられていない。
- 2 5 売上高営業利益率 = () × 100
- 2 6 売上高経常利益率 = () × 100
- 2 7 総資産当期純利益率 = () × 100

【資金調達】

- 1 () は、企業が借入金額を額面とする金融機関宛の約束手形を差し入れることで金融機関から融資を受けて資金を調達する方法である。
- 2 () は、株主であるか否かを問わず、特定の第三者に新株を引き受ける権利を与え、新たに株式を発行して資金を調達する方法である。
- 3 株式会社、特例有限会社、合名会社、合資会社、合同会社は、社債を発行()。
- 4 () は、不特定多数の投資家を対象として、企業が株式を発行して資金を調達する方法である。
- 5 () は、親族、知人、取引先などの縁故者(50人未満)を対象として、企業が社債を発行して資金を調達する方法である。
- 6 () は、企業が保有する在庫、売掛金などの資産を担保として融資を受ける資金調達方法である。
- 7 金融機関からの資金調達の手段には、手形貸付、() などがある。
- 8 社債には、不特定多数の投資家を対象として募集する(①)と、特定少数の投資家が直接引き受ける(②)がある。
- 9 資金調達は、月次ベースでの資金繰りだけを考慮しても、月の途中で一時的に資金不足となることもあるため、() の資金繰りも考慮したうえで行う必要がある。
- 10 中小企業が私募債を発行する際に利用することができる特定社債保証制度は、() による保証制度である。
- 11 資金調達の方法には、金融機関からの借入れ等によって資金を調達する(①)や株式の発行等によって投資家から資金を調達する(②)がある。
- 12 民間金融機関からの融資において、信用保証協会による信用保証制度を利用する場合は、() を負担しなければならない。

- 1 3 国、地方自治体が政策的に用意している各種補助金・助成金は、通常、()の資金として事業資金等に活用できる。
- 1 4 企業が振り出した手形・小切手が金融機関に支払いのために呈示された場合に、当座預金の残高が不足していても金融機関がその支払いに応じる融資形態を()という。
- 1 5 外貨建ての借入りに先物為替予約によるリスクヘッジをした融資形態を()という。
- 1 6 売掛債権を買い取ってもらう()は、売掛債権を、その償還期日前に資金化することを可能とする手段である。